



超巨大地震の 再来が近づいている!?

～東北大・北大・海洋研究開発機構が行った
千島海溝沿いでの海底観測結果報告～

今年度3回目の「さまに防災塾」は、東北大学・北海道大学・海洋研究開発機構（JAMSTEC）の共同研究チームによって今年2月に公表された、「北海道沖で17世紀以来の超巨大地震の再来が切迫している可能性を示唆する海底観測結果」についての講演会です。

また、あわせて建物の耐震化や家具の転倒防止についても、その必要性や方法について模型などを使って紹介します。

最大震度7を記録した先般の熊本地震でも、多くの家屋が倒壊するなどの甚大な被害が発生しました。大地震への心構えと実際の備えについて、一緒に考えてみませんか？



入場無料
— • —
申込不要

日 時

令和8年9月17日（木）
午後6時30分～

場 所

様似町中央公民館 文化ホール

第
1
部

海底観測で確認された千島海溝沿いでの「ひずみ」蓄積
～17世紀以来の超巨大地震の再来が切迫している可能性～

講 師

北海道大学 地震火山研究観測センター

教授 **高橋 浩晃**（ひろあき）氏



第
2
部

あなたの住まいは大丈夫？
～建物の耐震化と家具の転倒防止策～

講 師

北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所

主査（地域防災） **今井 崇嗣**（たかし）氏



共 催

様似町、様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会

協 力

日高東部消防組合様似支署、北電ネットワーク道央南統括支店、
新日本電工(株)日高事業所、（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部
北方建築総合研究所、アポイ岳ジオパークガイドの会



お問合せ

様似町役場 総務課防災・車両係 TEL：0146-36-2111 E-mail samani.chou@samani.jp